

1台の計算機が、複数人で遠隔操作できるようになる!

USER1



USER2



USER3



ただのリモート設定ではない!
HPCの台数を増やさずに
研究効率を上げられるおススメ提案!

HPC Remote Desktop Services



リモートデスクトップサービス

計算機リソースを効率よく運用するためのアプライドからの提案! HPCリモートデスクトップサービス

リモートデスクトップサービス (RDS) は、ネットワークを介してサーバーに接続し、離れた場所から計算機を操作できる仕組みです。研究データや計算環境をサーバー側で一元管理できるため、研究室内外から同じ環境を利用したい大学・研究機関で導入が進んでおり、HPC運用環境改善のためのテクニカルサービスとなります。

操作される側の端末を「データサーバ (ホスト)」、操作する側を「クライアント」と呼び、クライアント端末から接続することで、サーバーのデスクトップ画面を手元のPCに表示し、直接操作するように利用できます。仮想デスクトップのようにユーザー人数分の個別リソースを構築する必要がなく、サーバーの計算リソースを共有することで、コストと管理負荷を抑えた効率的なHPC運用を実現します!

通常のリモートデスクトップ



- 同時接続; 1人のみ
- 順番待ちが必要

リモートデスクトップサービス



- 同時接続; 複数人OK
- 全員が同時に操作可能

構築作業の概要

内容が環境によって異なるため一例になります

- ドメインコントローラ(DC)用サーバーに対してドメインサービス構築
- DC用サーバー内にRDSサービス構築 (RDSライセンスサーバー等)
- DC用サーバーにRDS CALを登録
- 各計算機に対してRDSサーバー (セッションホスト) 構築
- ドメインサーバーにユーザー登録実施
- 各クライアントPCから各計算機にリモート接続できるか確認

費用について

作業費 (目安) : 15万円~30万円

設定するクライアントPCの台数や、様々な要因によって料金が異なります。今の環境を教えてください。すぐにお見積り可能ですので、まずはご相談下さい。

まずは無料診断をご利用下さい。

- ? Hyper-Vによる仮想環境構築とどちらが適しているか
- ? 計算機の買い足しかRDS、どちらのコストが低いのか
- ? 今の環境・使用人数で設定が可能かどうか



お気軽にご相談下さい! 詳しくはお電話またはメールにて!

大学・研究室専門のITビジネスパートナー

アプライド株式会社 SI営業部

大阪

TEL: 06-6838-4123 (9:00~18:00) ※土日祝休み
E-mail: si_osakakita@applied-net.co.jp

最新情報は
こちらから



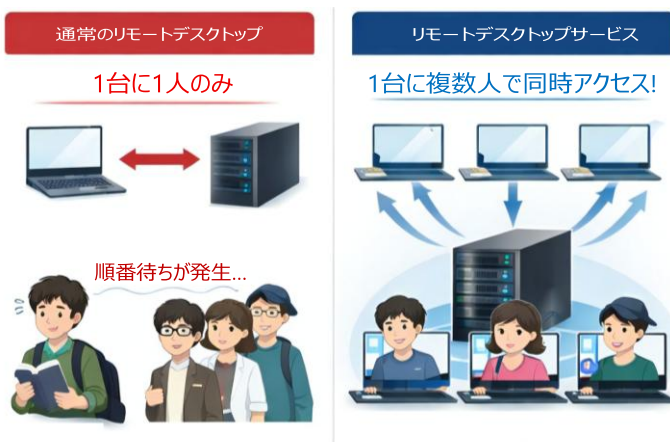
研究効率を上げるアプライドからの提案！ HPCリモートデスクトップサービス

RDS導入の背景

計算機を複数台保有する研究室では、従来のリモートデスクトップを用いて学生が遠隔から計算機を操作していましたが、1台の計算機につき同時に利用できるのは1人のみであり、順番待ちが発生するなど研究効率の低下が課題となっていました。

そこでリモートデスクトップサービス（RDS）を導入することで、1台の計算機に対して複数の学生が同時にアクセス・操作できる環境を構築し、研究効率の向上を図るため、導入を検討いただきました。

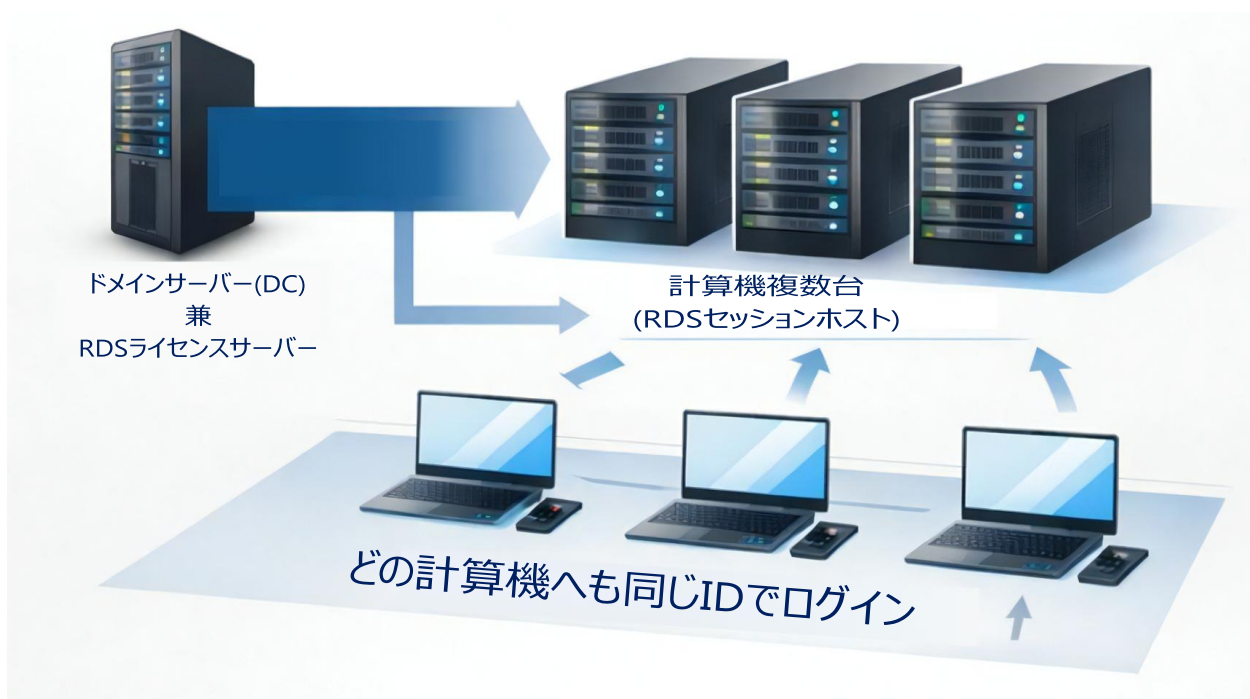
あわせてドメインコントローラ（DC）を構築することで、ユーザーアカウントを一元管理できるようになり、どの計算機でも同じID・パスワードでログインが可能となりました。学生の配属や卒業時も、DC上のユーザー情報を追加・削除するだけで全計算機に反映でき、管理作業の効率化・適正化といった副次的な効果も得られています。



リモートデスクトップサービスのおすすめの利用シーン

利用目的が特定されており、利用頻度が常時ではない場合には、リモートデスクトップサービス（RDS）の導入がおすすめです。利用するOSやアプリケーションが共通であれば、ユーザーごとに個別の環境を用意する必要がなく、効率的な運用が可能です。特に、複数人で同じ計算環境を共有する共同作業型の研究や演習用途では、RDSを利用することで1台の環境に複数ユーザーが同時にアクセスでき、コストや管理工数を抑えながら円滑なリモート接続環境を構築できます。

RDS構築に付随して、ユーザーアカウント管理の一元化も可能です



「リモートデスクトップ」と「RDS」の違い

Windows標準の「リモートデスクトップ」は、遠隔操作が可能な無償機能ですが、同時にアクセスできるのは1人のみです。一方、リモートデスクトップサービス（RDS）では、複数人が同時に同じ計算機へアクセスでき、ユーザーごとに異なるデスクトップ画面で作業することが可能です。

※RDSの利用には、利用人数または接続台数に応じたRDS CALが必要となり、あわせてドメイン（Active Directory）環境の構築が必要です。